

【開催レポート】

第1回「アンガーマネジメント経営賞」表彰式、開催！

お互いの人権を尊重し、ハラスメントや差別のない職場を目指す受賞企業、
全3社が表彰されました。

一般社団法人日本アンガーマネジメント協会（代表理事 安藤俊介）は「アンガーマネジメント」を共通言語として、お互いの人権を尊重し、ハラスメントや差別のない職場を目指す企業が世の中にあふれることを目指し、表彰制度「アンガーマネジメント経営賞」を創設。受賞企業3社を表彰する授賞式を、2023年6月6日（火）に開催しました。

（会場の写真）

「アンガーマネジメント経営賞」とは

一般社団法人日本アンガーマネジメント協会は、全従業員が多様性を受け入れ、お互いの人権を尊重することで、あらゆるハラスメントや差別のない健全な職場環境の実現を目標とし、その実現に向けて取り組みを推進している企業・団体に5つの観点から「アンガーマネジメント経営賞」を本年度より顕彰。業界の発展への貢献を目指します。

そして先日6月6日（火）、「アンガーマネジメントの日※」の記念日に第1回「アンガーマネジメント経営賞」表彰式を開催し受賞企業を発表しました。

※アンガーマネジメントの日

・・・2015年、一般社団法人日本記念日協会に「アンガーマネジメントの日」の記念日として正式認定されました。

| 5つの観点

■ビジョン・方針

経営理念・経営ビジョン・中期計画などに従業員の人権尊重・ダイバーシティの確立・ハラスメントの防止に関するビジョン・方針を掲げている。

■人権尊重

国籍、年齢、性別、職位などに関係なく、企業で働くすべての従業員および役員が、それぞれの価値観を尊重し、企業運営に反映できる環境がある。

■組織風土

従業員は想いを持って企業活動に携わり、お互いを尊重しながら、意欲的に働ける風土がある。

■教育

職場において適切な「行動変容」を促すための教育のしくみが整備され、研修や学習機会が継続的に設定・実施されている。

■しくみ・制度

経営理念・経営ビジョンの実現に向けた施策として、社内におけるしくみ・制度・規定が具備されている。

受賞企業一覧

【アンガーマネジメント経営賞 大賞】

セイコーエプソン株式会社

EPSON

受賞理由：

2015 年度よりアンガーマネジメントを社内研修に導入し、延べ 1 万名以上が受講。

その継続年数と圧倒的な受講人数もさることながら、全経営層がアンガーマネジメント診断受検を必須とし、グループ会社にも展開。社全体で健全な職場環境の実現を目標とし、それに向けて取り組みを推進している。

受賞コメント：

セイコーエプソン株式会社


代表取締役社長 CEO 小川恭範氏より

「このたびは、第 1 回目となる栄えあるアンガーマネジメント経営賞大賞を賜り感謝申し上げます。この表彰制度の創設が、思いを同じくする企業・団体の皆さまにとっても大きな励みとなるものと信じております。

アンガーマネジメント浸透を要とした『組織風土改革』『ダイバーシティ推進』『ハラスメント撲滅』など、今後も働きやすい職場環境の実現を通じて、『組社会貢献』と『社員の幸せ』に邁進していく決意を新たにいたしました。」

【アンガーマネジメント経営賞】

秋田海陸株式会社

 **AKITA KAIRIKU**

受賞理由：

アンガーマネジメントの専門家への入門資格である「アンガーマネジメントファシリテーター養成講座」を定期的に従業員が受講し、その取得率は全社員のうち 10% 超え。さらに自社のみならず、アンガーマネジメントによって関連取引先・地域の発展と貢献を軸に盛り上げようと、活動を継続している。

受賞コメント：

秋田海陸株式会社

代表取締役社長 西宮 公平氏より

「当社では、従前より、社員が働きやすい環境を整備するため『くるみん』や『健康経営優良法人』の認証取得を行ってまいりました。個人的にアンガーマネジメントに強い関心を持った私が始めに学び、企業風土を改善する手法として社内教育システムへのアンガーマネジメントの導入を決めました。

現在では、グループ会社を含めた全ての管理職が、アンガーマネジメントファシリテーターと、アンガーマネジメントハラスメント防止アドバイザーの資格を取得しています。

今後もアンガーマネジメントを梃子として、取引先や地域の発展に貢献して参ります。」

他1社

「アンガーマネジメント経営賞」ロゴについて



本アワードの Angermanagement Business Leadership Award の頭文字「ABA」をモチーフにしたカワセミ。カワセミは海岸や河岸に巣をつくり、卵を返すことから古来より風波を鎮めると信じられています。英国では伝説の鳥「Halcyon（ハルシオン）」として神話にも登場し、一般に平穏・平和・幸福の前兆の象徴となっています。

この鳥が「アンガーマネジメント」を共通言語として、ハラスメントのない平穏な場を創り出す、そのような想いを込めてロゴにしています。

アンガーマネジメントとは

アンガーマネジメントとは、1970年代にアメリカで開発された、怒りの感情と上手に付き合う（マネジメントする）ための心理トレーニング。アンガーマネジメントを学ぶことによって、自分自身の怒りを理解し、感情のコントロールをしたり、ポジティブな考えを生み出せ、また周囲との良好な人間関係を成立させることができるようになります。プログラム開発当初は、DVや差別、軽犯罪者に対する矯正プログラムとしてカリフォルニア州を中心に確立していました。現在では全米の教育機関や企業でも広く導入されており、教育・職場環境の改善、学習・業務パフォーマンスの向上を目的に長年活用されています。

近年アンガーマネジメントは、日本をはじめ世界でもその重要性を認められ、公的機関や企業、教育現場、医療現場などで導入が始まっています。日本でも、世界最大組織であるナショナルアンガーマネジメント協会（アメリカ）の日本支部として、2011年6月に一般社団法人日本アンガーマネジメント協会を設立させ、文部科学省も重要視する「アンガーマネジメント」を社会に浸透させています。

一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会

日本アンガーマネジメント協会は、「怒りの連鎖を断ち切ろう」の理念のもと、アンガーマネジメントができる人が増えることで人が人に当たらない社会、怒りが連鎖しない社会の実現を目指しています。

会社概要

協会名：一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会

所在地：〒105-0014 東京都港区芝 1-5-9 住友不動産ビル 2号館 4階

代表者：安藤俊介

設立：2011（平成23）年6月8日

URL：<https://www.angermanagement.co.jp/>

事業内容：アンガーマネジメントの個人・企業研修事業

本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会事務局 [担当] 小林

MAIL：info@angermanagement.co.jp